

令和7年度第12回 感染症発生動向調査協議会

開催日時 : 令和8年3月18日(水) 14:00~

開催場所 : 岐阜大学医学部本館 1階 入札室
岐阜市柳戸1番1

次 第

月番 : 川本委員 (岐阜大学病院) (進行)

1 前月の感染症発生動向について

事務局説明、月番委員コメント

2 検討すべき課題

- ・ インフルエンザウイルスについては、今年に入ってからには主にB型に移行して流行が続いている。1年前はB型の流行が少なく、その前も少なかったことと対照的である。
- ・ 急性呼吸器感染症の検出状況は現在のB型のインフルエンザの流行の状況を反映しているがその他にも多種のウイルスが報告されている。

3 情報提供すべき事項

- ・ 本邦における肺低形成・気道狭窄・先天性食道閉鎖症・先天代謝異常症・神経筋疾患に対するパリビズマブ使用の手引き(2025年追補版)が発行
 - 2024年に以下の患群が追加
 - ◇ 肺低形成
 - ◇ 気道狭窄
 - ◇ 先天性食道閉鎖症
 - ◇ 先天代謝異常症
 - ◇ 神経筋疾患
- ・ 小児呼吸器感染症診療ガイドライン2022百日咳に関する追補版(2025)が発行
 - マクロライド耐性百日咳菌(MRBP)への対応
 - ◇ マクロライド耐性百日咳菌(MRBP)が国内でも報告され始めた。
 - ◇ 2024年以降、PCR検査、multiplex PCRが利用可能となっている。
 - ◇ 23S rRNA A2047G変異
 - ◇ MRBP疑い例: ST合剤考慮。

4 情報提供（月番委員専門分野から）

- ・ 検査結果に届出疾患であることを明示する取り組み（日本小児感染症学会）
 - 届け出が必要であることに気付いてもらうために検査結果に明示するようにする

5 その他

次回予定

日時：令和8年4月15日（水）14時～

場所：岐阜大学医学部本館 1階 入札室

月番：加藤委員（進行）